

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

平成 29 年 7 月 31 日

釧路市議会議長 渡辺 慶藏 様

会派名 市政進クラブ

代表者名 松永 征明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	鶴間 秀典
出張先	茨城県水戸市、福島県いわき市
期間	平成 29 年 7 月 17 日 ～ 平成 29 年 7 月 20 日 ( 4 日間)
用務	「養命酒造と薬草協働事業協定」について 「全国若手市議会議員の会研修会」参加
調査(研修)結果等の概要	別紙のとおり
備考	

注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

# 市政進クラブ（鶴間単独）

## 平成29年7月福島視察レポート

日程：7月17日（月）～20日（木）

視察先：福島県 水戸市

視察者：鶴間秀典

7月18日（火）

9：00～10：30 茨城県水戸市

### 「養命酒造と薬草協働事業協定」

水戸市植物園を視察させていただき、養命酒造と連携協定を結び、建設した、養命酒造薬用ハーブ園のお話をお伺いしました。

水戸では、有名な水戸光圀副将軍の時代から薬草栽培が盛んであり、そこから医学や薬膳につながっている、ということでした。また、養命酒造との関係は、水戸市の職員が養命酒造の東京本社を訪れた際に、CSRの一環としての取組先を探していた養命酒造と意向が一致し、水戸市に養命酒造から寄付をする形で、ハーブ園につながった、ということでした。寄付額も少額で、なかなか大きな取り組みに繋がらないものの、植物園長の行動力により、市民団体などの支援も受けながら、植物園の魅力向上、集客増につながっているそうです。

釧路でも、市民のため、薬草栽培を奨励するような制度を作り、市民の健康増進や、人口増加に繋げてもいいのではないかと感じました。



養命酒造薬用ハーブ園



薬用ハーブ園説明

15：00～17：00 福島県いわき市

### 「いわき市の震災被害の状況と復興・創生の取組みについて」

全国若手市議会議員の会初代会長である、いわき市清水市長をお招きし、ご講演をいただきました。清水市長から、若手市議会議員の会の立ち上げ当時のお話や、組織化したお話し、また、東日本大震災の際の原発避難や復興、風評被害などについてのお話し、現在の市長の政策や、サッカーと城復興策、結びには、市長になりなさい、という檄も頂きました。

その後、いわき市の震災被害の状況と復興・創生の取組について、政策企画課長からお話があり、当時の被害状況や、給水、物資供給、災害廃棄物撤去、安定ヨウ素剤配布、除染などの対応について、いわき市復旧計画、復旧事業計画、復興ビジョンなどの計画について、道路や住宅、病院、漁港、こども元気センターなどの整備、人材育成、産業振興などについてお話をお伺いしました。

さらに、共創のまちづくり、をスローガンに進めている、いわき創生に向けた取り組みについて、創生推進課の方よりお話があり、公民連携、人材育成、ワイナリー事業、スポーツを通じていわき市を東北一の都市にする、など、さまざまな分野で、前向きな理念やスローガンのもとに進めている製作を勉強させていただきました。

釧路市も大津波被害に遭う可能性が高い。即応すべきことや計画を立てて進むことなど、勉強したことを活かせるように努力したい。



いわき市 清水市長講演



全国若手市議会議員の会メンバー

7月19日(水)

7:30~15:00 福島県

「東京電力福島第一原子力発電所 視察」

いわき市からバスに乗り込み、東京電力福島第一原発を視察させていただきました。視察では、東電の担当者の方から、現在の廃炉作業の状況や、注意事項をレクチャーしていただいた後、東電さんのバスに乗り込み、東日本大震災の際に被害のあった、第一原発の構内に行き、原子炉のすぐ目の前まで行かせていただきました。爆発した1号機建屋まで100mなかったと思いますが、本当に貴重な経験であり、また、そんな線量の高い現場でも約6,000人の作業員が導入され廃炉作業が進み、約2兆円というお金が投入されている、という現実を知ることができました。

この経験を、今後の自分自身の意見形成に役立てたい、と思いました。



東電の担当者からの説明



研修会場



1号機建屋



汚染水タンク



2号機建屋



バス車内